

家畜衛生広報

R6-4

令和6年(2024)年 4月 30日



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

ダメ、絶対!

注射針の連続使用

近年、牛伝染性リンパ腫（EBL）の発症牛が増加しています。
この疾病は注射針や吸血昆虫を介し、目に見えない量のごくわずかな血液によって感染します。本疾病を拡散させないために、血液が付着するような以下の器具は、連続で使用しないでください。

1回使用で捨てるもの

- 注射器（注射筒）
- 注射針
- 直腸検査用手袋 など

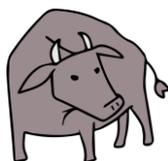
1頭ずつ洗浄・消毒するもの

- 耳標装着用アプリケータ
- 鼻環装着用アプリケータ
- 削蹄用カマ など

分からないこと、不安なことがあれば家保にご相談ください!

EBL 対策、できていますか？ チェックしてみましょう！

- 注射針は1頭1針、直腸検査用手袋は1頭ずつ交換を確実に実施
- 除角、去勢、削蹄、耳標装着、鼻環装着等の出血を伴う処置への適切な対応（止血、器具の消毒等）
- 分娩時の隔離・分娩房の洗浄
- 感染牛の初乳は子牛に給与しない（非感染牛の初乳、初乳製剤、加温処理した初乳を給与）
- 吸血昆虫対策（サシバエ、アブ等）
- 牛の配置や搾乳順の工夫
- 定期的な検査と計画的な更新



消毒は伝染病予防の第一歩

